

野西PK戦で涙

青森山田 23連覇

全国高校サッカー 青森県大会
第98回全国高校サッカー 青森市の県総合運動公園陸上競技場で、青森市を下し、23年連続25度、青森市がPK戦の末、八学野西の優勝を果たした。青森選手権青森県大会決勝は16日、青森市を下し、23年連続25度、青森市がPK戦の末、八学野西の優勝を果たした。青森選手権青森県大会決勝は16日、青森市を下し、23年連続25度、青森市がPK戦の末、八学野西の優勝を果たした。



開幕する全国高校選手権に出場する。(上村公愷)
▽決勝
青森山田 0-0 八学野西
延長 0-0
PK 4-2

あと一步、プレー精度悔やむ

強風が吹き荒れる中、八学野西イレブンが手疾足で体を張った守備を見せた。一人一人の闘志があふれ、この試合に懸ける思いが最後まで王冠を苦しめた。この日は風が強く、互いに思い通りの作戦を展開できずに苦しんだ。こうした中、求められ

【青森山田】前半、八学野西のMF鈴木洸斗(左)がシュートを放つ。青森県総合運動公園陸上競技場

たのはプレーの正確さ。花田翔主将は「少ないチャンスをもものにできなかったと振り返り、三上監督も「ゴール前の詰めが甘かった。パスやトラップの精度が低かった」と悔やんだ。それでも昨年の全国覇者・青森山田に対し、PK戦にまでもつれ込む接戦を演じ、あと二歩まで追い詰めた。「打倒青森山田」を掲げ、3年間苦しい練習に励んできただけに、試合終了後、イレブンはヒッチに崩れ落ち、大粒の涙を流した。初優勝の夢は後輩たちに託された。次期主将の2年生GK鈴木奏汰は「先輩の思いを胸にこれから練習し、来年こそは絶対に勝つ」と前を見据えた。(上村公愷)